

第1回 利根町小中学校適正配置等調査検討委員会 議事録（要旨）

1. 日 時 平成30年1月31日（水） 19:00～19:40
2. 場 所 利根町役場5階A会議室
3. 出席委員（9名）

会 長	岡 賢市	副会長	川村 啓三	委 員	中澤 則明
委 員	船川 京子	委 員	大越 伸江	委 員	大竹 正人
委 員	近藤 敬一	委 員	仲田 義弘	委 員	川村由紀夫
4. 欠席委員（1名）

委 員	花嶋 洋子
-----	-------
5. その他出席者

教育長	杉山 英彦
-----	-------
6. 事務局

学校教育課長	寺田 寛	指導室長	直井 由貴
学校教育課課長補佐	大越 克典		
学校教育課課長補佐	河村 明		
学校教育課係長	布袋 哲朗	学校教育課主査	大貫 浩希
7. 会議次第
 1. 開会
 2. 委嘱状交付
 3. 教育長挨拶
 4. 委員紹介
 5. 会長・副会長の選任
 6. 諮問について
 7. 事務局説明・意見交換
 - （1）検討委員会設置経緯について
 - （2）次回の日程について
 8. その他
 9. 閉会

8. 議事

1. 開会

○事務局 ただいまより、第1回利根町小中学校適正配置等調査検討委員会を開会いたします。

2. 委嘱状交付

○教育長 各委員に委嘱状を交付

3. 教育長挨拶

○教育長 改めまして、こんばんは。大変お忙しい中、また、夜分にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日、お集まりいただきました委員の皆様方につきましては、利根町の小中学校の適正配置等の調査検討をしていただく委員会でございます。利根町の現状を鑑みますと、平成19年に利根中学校と新館中学校を一つに、平成20年には小学校5校から3校に統廃合した経緯がございます。あれから10年の月日が経ちまして、いま現在、利根町の児童生徒数がだんだん減少してきている傾向がございます。そういう中で建物の問題やいろいろな環境問題とかがございますが、より良い教育効果を進められるように、今後、小中学校の適正規模・適正配置を考えていかなければならないということで、きょうの会議を開催している次第でございます。

本当にこれからの子供たちの教育を如何にしていくべきか、小中一貫校や義務教育学校ということも視野に入れまして、今後、調査検討し、諮問をしていただくという形になります。子供たちの学力向上、教育意欲の向上に向けて、お力をお貸しいただいて、いい教育ができるように進められればありがたいなと思っています。本日は、よろしく願いいたします。

4. 委員紹介

○事務局 各委員を紹介

5. 会長・副会長の選出

○事務局 第1回会議資料の5ページをお開きください。利根町小中学校適正配置等調査検討委員会設置要綱第5条第2項の規定により、

会長は、委員の皆様の互選で決めるということになっておりますが、いかがいたしましょうか。

○委員 事務局一任。

○事務局 ただいま、「事務局一任」という声をいただきましたので、事務局から推薦させていただいてよろしいでしょうか。

○委員 はい。

○事務局 それでは、会長には、元守谷市教育委員会教育長を務められておりました岡 賢市委員にお願いしたいと思います。

よろしく申し上げます。

副会長につきましては、「会長が委員のうちから指名する。」とになってございますので、岡会長からご指名いただけたらと思います。

○会長 すごい顔ぶれの皆さんがいらっしやいまして、どなたにすればいいか非常に悩んでいるんですが、現在、区長をやられていて、千葉県で校長をやられていたということで川村委員にぜひお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○事務局 それでは、会長は、岡 賢市委員、副会長は、川村 啓三委員にお願いしたいと思います。

6. 諮問について

○教育長 教育長より岡会長に諮問書を提出

7. 事務局説明・意見交換

○事務局 第1回会議資料の説明

【1ヶ所訂正】

「2 利根町立学校の状況（平成29年5月1日現在）」

児童生徒数 【誤】利根中学校 348（2）

【正】利根中学校 348（8）

「将来に向けての小中学校適正規模・適正配置等（小中一貫校・義務教育学校）」
について

- 1 利根町立小中学校の適正規模・適正配置の現状と課題
- 2 利根町立学校の状況（平成29年5月1日現在）
- 3 児童・生徒数の推移（平成29年5月1日現在）
- 4 将来の児童・生徒数の推移
- 5 学級数の推移（小学校）

- 6 小中学校の適正規模（平成29年5月1日現在）
- 7 小中一貫教育制度
- 8 小中学校適正規模・適正配置等の検討スケジュール（案）について
利根町小中学校適正配置等調査検討委員会設置要綱

【参考資料】

- ・近隣市町村の状況等
- ・平成19年度及び平成20年度の小中学校統廃合等の経緯
- ・利根町立小学校適正配置検討委員会規程

- 委員　　まとめについては、事務局でまとめるのか、委員の中から書紀を選出して行うのか。
- 事務局　　委員の皆様からの意見等については、事務局でまとめますので、方向性等の議論をしていただければと思います。
- 委員　　「たたき台、案」みたいなものは、事務局から出てくるんですか。それとも、検討委員会で一から決めていくんですか。
また、議論の柱みたいなものも委員で決めていくんですか。
- 事務局　　答申の「たたき台、案」みたいなものはございません。基本的には、現状と課題を認識していただけるような資料を検討委員会のほうに事務局から提出したいと思っております。既に、近隣の市町村においても検討委員会等が実施されておりますので、近隣市町村の資料等も参考に提出したいと考えております。もちろん、委員の皆様からこういう資料がほしいとご要望があれば用意したいと考えております。
- 委員　　小中一貫校にするのか義務教育学校にするのか、その辺は町のほうでお考えなんでしょうか。現時点で町の考えがあればお聞きしたいと思います。
- 委員　　小中一貫校とか義務教育学校が前提としての話し合いではなく、ゼロからスタートして、いまの現状からどういうふうにしていかなければいけないのかということを中心に議論していった方がいいと思うんです。条件を出されたらその条件に従うしかなくなってしまうので、諮問機関の意味がなくなってしまう。私たちは諮問するけれども決定は、教育委員会にあるわけですから。
- 委員　　義務教育学校になると小学校の免許と中学校の免許が必要になるんですか。

茨城県場合は、大体、小中学校の免許をとってもらっている方が多いから、義務教育学校にできるんですか。

○事務局 そうなんです。県の今の体制としましては、極力、小中学校の免許を両方持っている小学校と中学校で交流できるとか、そういうことで奨めております。

○委員 もし利根町で義務教育学校を選択した場合には、県が小中学校の免許を持った教員を配置してくれるというふうになるわけですから、その辺は考えなくてもいいと思います。

○委員 ただ、他の県よりも小中学校の免許を持っている方が多いから義務教育学校に移行しやすいということですよ。

○委員 そうですね。設定するには、相当の条件も必要ですので、すんなりとはいかないと思いますけれども、簡単にできるものではないと思います。

会長挨拶

○会長 本日の資料を見ますと、平成35年あたりから子供たちの数が急激に減り、今のような状態でいきますと平成37年には、1年生が45人になってしまいます。3校に分かれたままで、ある学校は、1年生が5人しかいないとかというような現状が間近に迫っています。利根町の子供たちのために、私たちに何ができるかということを考えながら諮問していければいいなと思っております。

幸いきょう不安で一杯だったんですが、来てみますとすばらしい委員の人達がいらっしゃいます。皆さんの英知をだしていただいて、いい諮問ができるように協力していただければありがたいなと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

最後に一言、言わしていただきますと、近隣の市町村の状況等を見させていただきましたら、龍ヶ崎市は平成21年度、稲敷市は平成19年度、阿見町については、平成25年度ですけれども、実際に話し合っって具体的に動いています。それから考えると利根町は、非常に遅い。子供たちがいなくなっってから議論をするような形になってしまいますので、本当に早く端的にいい内容に切り替えていかないと手遅れになってしまうのではないかと思いますので、皆さんでいい意見を出し、事務局では8回なんて言っておりますが、4月には全部終わらせてしまうぐらいの勢いで頑張っっていければいいと思っておりますので、どう

ぞよろしくお願いいたします。

次回の日程について

- 事務局 次回以降の日程 原則、夕方7時からに決定
次回の日程
平成30年2月28日（水） 19時から

8. その他 な し

9. 閉 会

- 事務局 それでは、第1回利根町小中学校適正配置等調査検討委員会
を開会いたします。
本日は、誠に有難うございました。